

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376400228
事業所名	グループホーム長篠の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ボランティアの受入れについては、オカリナや歌謡フランダースなど開拓を続けていて、利用者の愉しみを求めることに遺徳的です。新城節句まつりには「全員で」が敢行され年中行事の一つとなっていて、地域からは防災訓練に声をかけてもらえ、祭りには獅子舞踊りが演舞披露くださっています。利用者も獅子舞を楽しみにしていて、寒い日には毛布を被って見学しているとの微笑ましいエピソードもあります。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 区長、民生委員、地域包括支援センター、利用者、家族、法人内の他事業所管理者と顔を揃え、隔月開催が滞りなくできており、メンバーである民生委員は運営推進会議を通じてレクリエーションボランティアとしても活躍くださっています。また最期に「一言ずつメッセージを～」と管理者がリクエストして、なにがしかの意見をもらうことも継続しており、利用者はなかなか発言には至りませんが、それぞれの立場からの貴重な情報が挙がっています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に毎回出席くださる地域包括支援センター職員からはイベントや地域の情報が多面的に届けられています。入居紹介も折々にあり、満床だったことで法人内の他の事業所に仲介した例もあり、相互に協力し合う態勢に在ります。東三河広域連合が保険者となったことから行政との情報交換の機会が減ってはいますが、市役所ならびに地域包括支援センターには努めて足を運び、連携を保っています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月家族には請求書を取りに来てもらうようお願いしているほか、1ヶ月の様子を綴った「長篠の家」も発行して、双方向の情報交換を図っています。また通院介助や郵送代等において家族へ伝わりきれい نبودった点については、確認の場を昨年の家族会にて持っています。家族会には8割余の家族が集ってくださり、フラダンスなどの楽しみを通じて親睦を深めており、「なんでも言ってもらえる」関係に結ばれています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○